

# 目次

序論 .....	1
一、問題意識 .....	1
二、先行研究 .....	2
三、中井竹山の著作 .....	12
四、詩に興り礼に立つ——中井竹山の『詩経』学と礼学 .....	21
第一章 中井竹山の『詩経』理解—『詩断』を中心に— ..	25
一、はじめに .....	25
二、竹山『詩断』と懐徳堂の学問 .....	27
三、竹山の『詩経』理解 .....	32
(一)「孔子刪詩」説の否定 .....	32
(二)「詩」の本質をめぐって .....	38
(三)朱『伝』の牽強付会や強引な解釈への否定 .....	42
(四)「淫詩」説の肯定 .....	46
四、おわりに .....	47
第二章 中井竹山と中井履軒における『詩経』学の比較— 「周南・関雎」をめぐる解釈を中心に— .....	53
一、はじめに .....	53

二、中井履軒『古詩逢原』の篇目.....	54
三、「周南・関雎」をめぐる竹山と履軒との解釈.....	65
(一)「国風」は「風」とのみ称すべし.....	65
(二)「周南」「召南」.....	67
(三)「風」とは何か.....	69
(四)「関関」の雌雄相応の解への否定.....	71
(五) 匡衡の説を引いた朱『伝』の不当をめぐって .....	74
(六)「輾転反側」の解釈をめぐって.....	77
(七) 詩の篇題をめぐって.....	79
四、竹山と履軒における『詩経』学の比較.....	82
五、おわりに.....	89
<b>第三章 中井竹山『礼断』とその廟制論.....</b>	<b>103</b>
一、はじめに.....	103
二、懐徳堂の礼学著作.....	105
(一) 中井竹山『礼断』.....	105
(二) 中井履軒『礼記雕題略』.....	108
(三) 中井蕉園『蕉園首書礼記集説』.....	110
三、中井竹山の廟制論.....	111
(一)『礼断』における竹山の廟制論.....	111
(二)『草茅危言』における竹山の廟制論.....	115
(三) 中井履軒『礼記雕題略』の所論.....	125
四、おわりに.....	126

第四章 中井竹山・履軒の礼学思想とその儒礼実践 .....	133
一、はじめに .....	133
二、竹山、履軒の礼説——「忌日」「禫祭」をめぐる議論 を例に .....	137
(一) 忌日の弁 .....	138
(二) 禫祭 .....	142
三、竹山・履軒の礼学思想と『喪祭私説』およびその儒 礼実践の関係 .....	144
四、おわりに .....	148
第五章 中井竹山の排仏論と鬼神祭祀説 .....	153
一、はじめに .....	153
二、竹山の排仏論 .....	155
三、「祭祀用敬」——中井竹山の祭祀観 .....	164
四、中井竹山の鬼神説 .....	174
五、中井竹山の鬼神説と中井履軒・山片蟠桃の「無鬼論」 .....	182
六、おわりに .....	184
結論 .....	187
参考文献 .....	191
人名索引 .....	199